

入 札 公 告

次のとおり一般競争入札に付します。

平成30年7月5日

国立研究開発法人水産研究・教育機構
西海区水産研究所長 青野 英明

1. 調 達 内 容

- (1) 調達件名及び数量 生殖腺組織標本・耳石切片作製等業務 一式
- (2) 調達仕様 入札説明書による。
- (3) 履行期限 平成31年2月28日
※ただし、一部業務については平成31年1月31日とする。
- (4) 履行場所 入札説明書による。
- (5) 入札方法 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の8に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか、免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の108分の100に相当する額を入札書に記載すること。

2. 競 争 参 加 資 格

- (1) 国立研究開発法人水産研究・教育機構契約事務取扱規程（平成13年4月1日付け13水研第65号）第12条第1項及び第13条の規定に該当しない者であること。
- (2) 平成28・29・30年度国立研究開発法人水産研究・教育機構競争参加資格又は全省庁統一資格の「役務の提供等契約」の業種「調査・研究」で「B」、「C」又は「D」いずれかの等級に格付けされている者であること。
- (3) 国立研究開発法人水産研究・教育機構理事長から物品の製造契約、物品の販売契約及び役務等契約指名停止措置要領に基づき指名停止を受けている期間中でないこと。ただし、全省庁統一資格に格付けされている場合は、国の機関の同様の指名停止措置要領に基づき指名停止を受けている期間中でないこと。
- (4) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第32条第1項各号に掲げる者でないこと。
- (5) 本業務を履行しうる知識、技術を有することを証明した者であること。
- (6) 仕様書を踏まえた実施体制を整備すると共に、第三者に委託することなく業務責任者（査定結果の最終判定を行える者）を有していることを証明した者であること。

3. 入 札 説 明 書 等 の 交 付 方 法

- 競争参加希望者は、以下により入札説明書等（入札説明書、入札心得書、契約書案、入札書様式、委任状様式等）の交付を受けること。
- ① 直接交付
長崎県長崎市多良町1551-8
国立研究開発法人水産研究・教育機構
西海区水産研究所
業務推進部業務管理課用度係
電話 095-860-1610
FAX 095-850-7767
- ② 郵送による交付
封書に「【調達件名を記載】入札説明書希望」と記入し、返信用封筒（角2）に250円切手を貼付し、上記①あて郵送のこと。
- ③ メールによる交付
任意書式に「【調達件名を記載】入札説明書メールにて希望」と記入し、社名、担当者名、メールアドレス、電話番号を記載のうえ、上記①あてFAX送信すること。

- ② 当機構との間の取引高
- ③ 総売上高又は事業収入に占める当機構との間の取引高の割合が、次の区分のいずれかに該当する旨
- 3分の1以上2分の1未満、2分の1以上3分の2未満又は3分の2以上
- ④ 一者応札又は一者応募である場合はその旨

(3) 当機構に提供していただく情報

- ① 契約締結日時時点で在職している当機構OBに係る情報（人数、現在の職名及び当機構における最終職名等）
- ② 直近の事業年度における総売上高又は事業収入及び当機構との間の取引高

(4) 公表日

契約締結日の翌日から起算して原則として72日以内（4月に締結した契約については原則として93日以内）

(5) その他

当機構ホームページ（契約に関する情報）に「国立研究開発法人水産研究・教育機構が行う契約に係る情報の公表について」が掲載されているのでご確認くださいとともに、所要情報の当機構への提供及び情報の公表に同意の上で、応札若しくは応募又は契約の締結を行っていただくようご理解とご協力をお願いいたします。また、応札若しくは応募又は契約の締結を、ご了知願います。

9. 公的研究費の不正防止にかかる「誓約書」の提出について

当機構では、国より示された「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」（平成19年2月15日文部科学大臣決定）に沿って、公的研究費の契約等における不正防止の取り組みを行っており、取り組みのひとつとして、取引先の皆様に「国立研究開発法人水産研究・教育機構との契約等にあたっての注意事項」（URL：http://www.fra.affrc.go.jp/keiyaku/pledge_request/note_contract.pdf）をご理解いただき、一定金額以上の契約に際して、当該注意事項を遵守する旨の「誓約書」の提出をお願いしています。

公的研究費の不正防止関係書類（①公的研究費の不正防止にかかる「誓約書」の提出について、②国立研究開発法人水産研究・教育機構との契約等にあたっての注意事項、③誓約書）は、入札説明書に添付しますので、契約相手方となった場合は、誓約書の提出をお願いします。なお、当機構の本部、研究所、開発調査センター、水産大学いずれか1箇所に1回提出していただければ、当機構内の次回以降の契約では再提出する必要はありません。

業 務 仕 様 書

1. 件 名 生殖腺組織標本・耳石切片作製等業務
2. 業務目的 本業務は、西海区水産研究所及び鹿児島県水産技術開発センターより得られた標本について、生殖腺組織標本・耳石切片作製業務を専門業者へ依頼し、正確なデータ、標本等を得ることにより、今後の資源管理事業の向上に資することを目的とする。
3. 分析標本 別紙業務内容（１）から（４）のとおり
4. 納入場所 〒 8 5 1 - 2 2 1 3
長崎県長崎市多以良町 1 5 5 1 - 8
国立研究開発法人水産研究・教育機構 西海区水産研究所
及び
〒 8 9 1 - 0 3 1 5
鹿児島県指宿市岩本字高田上 1 6 0 番 1 0
鹿児島県水産技術開発センター
5. 履行期限 平成 3 1 年 2 月 2 8 日
※ただし、業務内容（１）については平成 3 1 年 1 月 3 1 日までとする。
6. 業務内容 以下 4 件の分析業務を行うこと。
詳細については別紙業務内容（１）から（４）のとおりとする。
 - （１） マアジ耳石の加工標本作製業務
 - （２） マイワシ等の生殖腺組織標本作製業務
 - （３） 鹿児島県シラスの魚種組成体長組成業務
 - （４） カタクチイワシシラスの耳石輪紋計数業務
7. その他 詳細については、担当職員の指示に従うこと。
電子媒体での納品の際は、納品前にウイルスチェックを行うこと。
本業務で知り得た情報について、取扱責任者を置き、社内ですべて適切に管理すること。また第三者への開示をしないこと。

業務内容（１）

1. 件名 マアジ耳石の加工標本作製業務

2. 分析標本 マアジ耳石 700個体

3. 業務内容 マアジ耳石を樹脂包埋し、顕微鏡観察用の標本作製する。

マアジ耳石700個体分について、焼き入れ、包埋、切断、研磨の工程を行い、顕微鏡観察用の標本作製する。

① 焼き入れ：200℃ 20分間

② 包埋

③ 切断：短軸方向に耳石中心部をはさむように切断。

④ 研磨：0.3～0.4mmの範囲で輪紋の見やすい厚さに研磨。

4. 成果物 作製した標本は西海区水産研究所へ送付すること。

5. 履行期限 平成31年1月31日

6. その他 詳細については、担当職員の指示に従うこと。

業務内容（2）

1. 件名 マイワシ等の生殖腺組織標本作製業務
2. 分析標本 マイワシ等 600個体
 標本は平成30年度に採集したもので、上記の標本数が揃わない場合には、別の種の組織標本作製する場合がある。その場合において、標本数の全数は600個体を超えないものとする。
3. 業務内容 本業務では、マイワシ等の生殖腺組織切片標本を以下の手順で作製する。
 - 1) 10%ホルマリン固定した卵巣を常法によりパラフィン包埋すること。
 - 2) ミクロトームを用いて厚さ8 μ mに薄切すること。
 - 3) Mayerのヘマトキシリン-エオシンの二重染色法で染色すること。
 - 4) 1列10枚程度の連続切片をスライドガラス上に1~3列程度に貼付すること。
 - 5) 組織切片標本スライドには標本番号の情報を入れたラベルを貼付すること。
4. 成果物 業務完了後は作製物概要表をエクセル形式で作成し（別紙参照）担当職員へ電子媒体で提出すること。なお、電子媒体については納品前にウイルスチェックを行うこと。
 また、上記に従って作製した組織標本を西海区水産研究所に送付すること。業務完了後の送付にかかる費用については請負業者にて負担すること。
5. 報告期限 平成31年2月28日
6. その他 詳細については担当職員の指示に従うこと。

業務内容(3)

1. 件名 鹿児島県シラスの魚種組成体長組成業務
2. 分析標本 シラス漁業操業船より入手したホルマリン標本 30検体
3. 業務内容 以下①から③のとおり計数業務を行うこと。
 - ① シラス漁獲物標本から100g以上を無作為に抽出し、マイワシ、カタクチイワシ、ウルメイワシ、キビナゴ及びその他の魚類に選別し、湿重量組成、尾数組成を求める。
 - ② 選別したその他の魚類の同定を可能な範囲で行う。
 - ③ イワシ類及びキビナゴ4魚種ごとに100個体以上を任意に抽出し、体長をmm単位で測定する。
ただし、100個体に満たない場合は選別した全個体を測定する。
4. 成果物 分類した標本を鹿児島県水産技術開発センターに返送すること。この際保存容器破損、水漏れを防ぐ処置を十分に講じること。
計数・計測結果は、エクセル(別紙参照)に入力し、電子媒体で西海区水産研究所及び鹿児島県水産技術開発センターに提出すること。また、電子媒体については納品前にウイルスチェックを行うこと。
5. 履行期限 平成31年2月28日
6. その他 詳細については担当職員の指示に従うこと。

業務内容（４）

1. 件名 カタクチイワシシラスの耳石輪紋計数業務
2. 分析標本 カタクチイワシシラスのアルコール固定標本 100個体
3. 業務内容 以下①から③のとおり耳石の輪紋数計数業務を行うこと。
 - ① 頭部より耳石（扁平石）を摘出してスライドグラス上に包埋する。
 - ② 包埋した耳石は必要なら研磨を行う。
 - ③ ラトック社製耳石解析装置 APR/W を用いて、それぞれの耳石について耳石輪紋数の計測を行う。
4. 成果物 計数結果をエクセル形式で作成しメール等で西海区水産研究所の担当職員及び鹿児島県水産技術開発センターの担当者に送付のこと。
5. 履行期限 平成31年2月28日
6. その他 詳細については、担当職員の指示に従うこと。
カタクチイワシシラスの標本及び耳石包埋サンプルは鹿児島県水産技術開発センターに返却すること。

平成30年度 鹿児島県水産技術開発センター、シラスバッチ網標本分析結果

1 漁獲情報

漁獲日	
漁協	
船名	

2 同定結果

	イワシ類			キビナゴ	マアジ	サバ属	ブリ	ムロアジ属	アユ	合計
	マイワシ	カタクチイワシ	ウルメイワシ							
個体数										
湿重量(mg)										

3 シラスの体長計測

マイワシ		カタクチイワシ		ウルメイワシ		キビナゴ	
体長(mm)	個体数	体長(mm)	個体数	体長(mm)	個体数	体長(mm)	個体数
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							